南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ（日記の一種：掲載許可済み）等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方（滞在の方・避難された方等）が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。**同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行　NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、
今まで協力いただいた先（判明している所のみ）：長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ　配布協力避難所：新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、ほか
新聞 PDF 置場 http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html

まだまだ　生きる

私は中学生です。中学生でもこんなことを考えている。そんな今を発信していきます。まだ踏ん張り時です。あともう少し、粘りましょう！。

2011 年 08 月 16 日(火) 19 時 05 分 02 秒

http://ameblo.jp/kanasanndoo/entry-10987989091.html

こんにちは、キャナです。
この 3 日、津波の跡の記録をまた残しに行きました。

だいたい、片付きました。
けれどまだ鹿島は船がたくさん転がっています。
そして潮の匂いが漂っています。
まだまだなんです。
ふるさとがもとに戻るまで。
そして鹿島には向日葵がたくさん植えられていました。
少し、悲しくなりました。
今の現状をそのままそっくり映しているようで。

##

南相馬市から8月17日夜　サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を経営しています。 新鮮な話題をお届け！　2011-08-17 19:13:43

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/e3473fc5f8fd787a612d0e027a423d18

暑い日でした、今年一番かな、近くにあるデジタル式の温度計が3時頃に37度を表示してました。本日の日本一ではないのかな？
サイヤの三相電源のブレーカーが落ちました、容量がギリギリなので、暑い日は落ちることがありますが、今年3回目です。
暑い日は、エアコン、冷蔵ケースなどの、外部室外機に水をかけて冷やしていますが、今日もやったのですが、それでも、ブレーカーが落ちるほどの暑い日でした。
当然、日中はお客さんも少なく、特に年配の方は暑いと出てきません、夕方になり若干回復しましたが。

今日、テレビで福島の局だったですが、放送で年配のご婦人が仙台から親戚の家から帰って来て、毎年お土産に福島の桃を持って行くのだが、今年は持ってこなくてもいいと言われたと、言っていたのを見て、がっかり、残念、やっぱり、そういう事なのかと、お盆になったら急に福島の桃が安くなりました

が、売れなければ値段は下がります。福島の方たちが他の地域に送ったり、お土産にしたりという事がなければ、売れなくなるのは当たり前ですよね。
いままで、自分の農園で出来た桃を直接、消費者の方たちに販売していた方たちが、売れなくて農協に持ちこんで、桃の供給が増えたせいもあるようですが。

その一方で、サイヤに来たお客さんで静岡から福島にお金を落としに来たと、福島のあかつき桃の箱を5箱も買っていかれた方もいました。
ありがたい事です。あれだけ桃の放射能の値は基準以下ですと発表しているのな、もう少しアピールが足りないのかな、テレビ放送でタレントでも使ってアピールしなければだめなのかも。

南相馬市から8月18日朝　2011-08-18 05:17:57
http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/cf4b3225966ee90578aacfcde7cdd970
『加害者だという自覚？』

私たちは被害者だ、政府が、東電が悪い、この思いはみんなにあるはずです。
しかし、それ以上に、子供や孫たちに対して私たちは加害者なんじゃないだろうか、加害者になってしまうんじゃないだろうか、という思いがしてしまいます。
少なくとも子供達には今回の事故に何の責任もないわけだから。

人は被害者意識のなかでは、本当に意味で立ち上がらない、むしろ加害者だと意識、自覚した時に人は立ち上がるような気がします。
国が大丈夫だと言っているからという言葉が自分の加害性を認められずに、『国』という言葉によって全てを覆い隠そうとしてしまう。
権力者側が罪を犯した人に免罪符を与えているような、そのことによって罪が無くなるような気がしてしまう。

東京の人も、原発周辺の人も、福島県の多くの人も、皆どこかで自分は、自分も加害者なのではないのか、そんな思いが人を行動させているのかな？

南相馬市から8月18日夜　2011-08-18 19:49:43
http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/3265b9ed7b1fc6234fe2a3b37ac4ec94

私たちは、自分で自分の人生を選ぶ、または自分の子供達にどういう未来を残すのかということを実はしてこなかったのではないのか。
その結果が54基の原発なのかも。

選んだものがあるとすれば、見たくないものは遠くに追いやるということなのか。
原発を見えない地方に押し付ける。原発の被ばく労働の問題も見えなくしてきた、安全神話も見えないものだった、これから日本全体がどういう社会を願っていくのかということを一人一人が選ばなくてはいけないのかも。

サイヤもしくは福好再見では線量計の貸し出しを始めます。

とりあえず、5台確保しました。サイヤのレジまたは、隣りの貸店舗、福好再見にて受付する予定です。

##

原発震災避難者の素朴な疑問　・・・　除染
負けてらんにぇ！みんなでなんとかすっぺ！！
南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。　2011-08-16 20:58:05
http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/4bbc8b0c239cecf3d40138e330ff3987

いまだ放射性物質が降りつづくわが故郷から　・・・
本日　南相馬市災害対策本部広報チームを差出人とする封書が届きました。
（今後　2回／月送られてくるのだそうです）
中身は
1. 避難されている南相馬市民の皆様へ　23／8／15　南相馬市長　桜井　勝延
2. 南相馬市内の状況(その2)です　23／8／10　南相馬市災害対策本部
3. 南相馬市放射性物質除染カレンダー　23／8　南相馬市災害対策本部
4. 広報　みなみそうま　23／8／15　南相馬市市長公室

警戒区域から避難する私としては
1. ～ 4. の内容について いろいろといいたいこともありますが ・・・ 。
とくに 2. 南相馬市内の状況(その2)です の中で

■ 放射性物質の除染
「市民の放射性物質からの影響に対する不安を解消し、・・・地域ぐるみで放射性物質を少なくして活動(除染)を行う」ことを目的に ・・・
除染対象
＜小中学校の除染＞　＜公園等の公共施設の除染＞
＜道路、側溝の除染＞　＜個人住宅＞
● 外壁・軒樋の洗浄や除草などにより放射線量の軽減が図れますので、個人対応でお願いします。

ハイ、除染の必要性は分かります。
ム・ム・ム ・・・ 小中学生でも 一日の2／3は自宅で生活しているのですよ。
自宅は 生活のベースです。
そこで 素朴な疑問です。
個人住宅の除染が・・・なぜになぜに個人対応なのでしょうか。
意味深なことだ ・・・ と思います。

##

緑のカーテン成長中
どっさりんこ (2011.08.18 11:00)
相双ゆたどさ ゆったりがどっさり。～ふくしま相双～
http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/3640.html

暦では秋なのにまだまだ残暑が厳しい。
今年は節電ということで『緑のカーテン』をしている方も多いですね。ゆっ太郎もその一人ですが、実は私も・・・。
緑のカーテンはこんなにも大きくなっています。
しかしカーテンを掛けるところを間違え、意味が無いですがでも実がこんなにも出来ています。

まだまだ小さいゴーヤ達がすくすくと育っています。
収穫するのも楽しみです。

このゴーヤたちのようにすくすくと相双地域の子ども達も負けずと育ってくれることでしょう。

##

追悼と復興を願い灯籠流し
南相馬市ホームページ
写真で見る東日本大震災 【2011 年 8 月 11 日】
http://www.city.minamisoma.lg.jp/sinsai/2011-08/tourou.jsp

東日本大震災から5か月。鹿島区では「みなみそうま追悼復興事業」として犠牲者を追悼する灯籠流しと復興を願う花火が打ち上げられました。
灯籠流しでは、鎮魂の思いを込め亡くなった人の名前やメッセージなどが書き込まれた 600 個の灯籠を真野川に流しました。
花火は「LIGHT UP NIPPON」の一環で福島、宮城、岩手の被災 3 県の 10 か所で一斉に打ち上げられ、2000 発を超す色とりどりの花火に見物客から歓声か上がりました。

##

復興へ心をひとつに盆踊り

南相馬市ホームページ

写真で見る東日本大震災【2011 年 8 月 14 日】

http://www.city.minamisoma.lg.jp/sinsai/2011-08/bon-odori.jsp

原町区の旭公園で「南相馬市民盆踊り大会～心をひとつに、一歩前へ」が行われ、盆踊りのほかカラオケやビンゴゲーム大会も開催されました。

ちょうちんの灯りが幻想的な会場では盆踊りが始まり、浴衣姿の参加者がうちわを手にしながら音頭に合わせてやぐらを回り、踊りを披露しました。

▲出店が並び賑わう会場

▲やぐらを回る参加者

▲踊りを見物する人も

▲心をひとつに踊ります

●個人積算線量測定（ガラスバッジによる）の実施について　（H23.8.19 15:30 現在）

http://www.city.minamisoma.lg.jp/i/k/kojinsekisansenryosokutei.jsp

南相馬市では住民一人ひとりのより一層の安全・安心の確保と、今後の健康管理を目的として、個人積算線量測定を実施することとしました。尚、個人積算線量計はバッジ式線量計（ガラスバッジ）です。

＜ガラスバッジとは＞

・ 個人が一定期間に受けた積算の放射線の量（外部被ばく量）を測定し、個人線量を算定するために装着用に作られた小型の線量計です。

・ バッジ本体にスイッチはなく、配付から回収まで、バッジ本体が放射線量を測定するものです。

・ バッジ本体には、放射線量の数値は表示されません。

1. 対象者

南相馬市に住所のある県内在住の 18 歳以下の方及び妊婦で測定を希望する方。また、他の市町村から避難し、市内在住している該当年齢の方も測定することができます。

【妊婦】

・平成 23 年 10 月1日以降出産予定で 9 月 30 日までに母子健康手帳を交付した方（妊婦は平成 23 年 10 月 1 日を基準日とし、その時点で妊娠している方を対象とします。）

・平成 23 年 10 月 1 日以降で平成 23 年 11 月 15 日までに母子健康手帳を交付した人のうち、測定を希望する場合は 2 回目のみ対象とします。

【乳児】

・平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日生まれの方。

※平成 23 年 10 月 1 日以降に出生した乳児は除きます。

【幼児～高校生等】

・平成 5 年 4 月 2 日～平成 22 年 9 月 30 日生まれの方

2. 測定期間

10 月 1 日から 3 月 10 日の約半年間,、約 3 か月期間の線量測定を2回実施します。

(1) 第1回目：10 月 1 日から 12 月 23 日

(2) 第2回目：12 月 23 日から 3 月 10 日

※ ガラスバッジが納入され次第配付しますので、多少期間が前後する場合があります。

3. 実施方法

測定対象者（妊産婦・乳幼児・児童生徒等）が個人積算線量計を装着し、それを回収し、専門業者にて測定値を算出いたします。測定結果については、後日ご本人に通知します。

4. お知らせ方法

対象者には個別に通知するほか、ホームページ、広報等でお知らせします。通知が届かない場合には、恐れ入りますが担当課までご連絡下さい。

5. 申込方法

＜市内小学校・中学校に通学の方＞

市内小学生・中学生については、学校へ8月25日・26日の両日中に申込書を提出してください。26日までに提出できない場合には、担当課までご連絡下さい。

＜妊婦・乳幼児・高校生等・県内に避難されている方＞

妊婦・乳幼児・高校生等・県内に避難されている方については、郵送またはFAX、電子申請（QRコード、ホームページからの入力）、原町保健センター窓口にて8月24日までにお申込みください。

【問い合わせ先】

南相馬市役所健康づくり課（原町保健センター）

電話：0244-23-3680　FAX：0244-23-4525